



広報

# ななかま

見て 触れて  
すべてが新鮮でした

特集 私たちのこれまでとこれから  
(地域おこし協力隊活動記録)

(2~12ページ)

2021

3

令和3年

No.798

「私が“協力する”というより、  
 たくさんの方に“協力隊”していただいた3年間でした。」

地域おこし協力隊 <sup>さしき</sup> 左治木 悠子



はじめは何とか柏倉家を引き継がなければという思いが強く、気張っていたと思います。でもその様子を見て何かあれば手助けしてくれたのが指導員の井上さんであり、同期の前田さんであり、柏倉家に入出入りする黒塚のまちなみ保存活用協議会の皆さんや岡地区の皆さん、シルバー人材センターの皆さん、大学の諸先生方など、書ききれないたくさんの方にお世話になりました。

1年目に九左衛門家の当主から「ここで見聞きしたこと・感じたことがひとつでもあなたの人生のどこかで活きたら良いと思うの」という言葉をかけていただき、今でも心に残っています。自らが興味を持つと、身の回りにたくさんの魅力的な物事や人に溢れていることに気づきます。柏倉家が、それぞれの人にとっての魅力を見つけることができる場所であり続けてほしいと思います。

柏倉家を通じて毎日たくさんの方の事を楽しく勉強させていただき、好きなことを追究してもらいました。大きなデザインを担当させていただいたり、趣味の延長だった古物やカルチャーに携われて、想像以上に刺激的な3年間であつたという間でした。たくさんの方に気にかけていただいて、お話しして下さった方一人ひとりにお礼の気持ちでいっぱいです。

これからも中山で楽しくたくさんの方の事を吸収しながら、皆さんにさせていただいたように、新しく中山に来る方に中山の面白さを伝えられるようになりたいと思います。



カミザシキ  
シモザシキ

特別なお客様をもてなしの座敷です。床の間には多数の  
銘木が、欄間にはカリシ材が用いられています。欄間は  
蘭・竹・菊・梅の四君子が彫られています。カミザシキ  
の障子は中国風の組子で、障子紙の美濃和紙は麻の葉模  
様の透かしが入っています。

順路  
←

「周りの優しさで3年間楽しく走り続けられました！」

地域おこし協力隊 前田 真莉子

※ここでは旧柏倉家住宅（九左衛門）・旧柏倉惣右衛門家住宅（惣右衛門）を合わせて柏倉家と表記します。  
それぞれの家のことを示す場合は、九左衛門・惣右衛門と記載します。

## 1年目（平成30年度）

- 3月…協力隊着任、ひなまつり初参加  
 4月…中山町クリエイティブ部入部、「柏倉家住宅保存・利活用基本計画・実施計画」作成開始  
 5月…全国各地域おこし協力隊研修（3日間）  
 6月…金比羅樽流し初参加、ふるさとCM大賞の製作開始、子ども教室「高取山登山」  
 7月…九左衛門で職業体験、紅花まつり初参加、豊田小学校でのゲスト授業、全国かぶと虫相撲大会初参加（なかやまのなか初出店）、子ども教室絵はがき講師、岡千手観音堂仏像しつがい悉皆調査を提案

おかやまのし

8月…九左衛門で職員研修、岡雨印の紅花制作開始、柏倉家の温度・湿度測定開始

9月…元祖芋煮会in中山でワークショップ参加、岡千手観音堂仏像悉皆下見調査

10月…ふるさとCM大賞中山CM完成披露、ほんわ館まつり「スギヤマカナヨさんワークショップ」参加、ひなまつり展示企画開始

11月…資料のクリーニング・移動、北蔵の収蔵庫化・旧保育園空き教室の倉庫化開始、ひな人形の調査・目録作成開始、縁の品漆器類の調査開始

1月…からまがるマルシェ初参加（なかやまのなか出店）、ながさき幼稚園餅つき初参加  
 3月…ひなまつり開始  
 など

## 2年目（令和元年度）

4月…第1回中山町地域おこし協力隊活動報告会、惣右衛門石山太柏作品群の調査、岩谷十八夜観音奥の院探検

5月…子ども教室「名札作り」、中山町芸術文化協会「地域おこし協力隊トークショー」、九左衛門当主聞き取り調査・事業書類整理開始、惣右衛門当主・家族聞き取り調査開始

6月…文化財保存修復学会第41回大会参加、置賜民俗学会シンポジウム参加、東北芸術工科大学講師を務める

8月…柏倉家団体ガイド開始、中山町郷土研究会口頭発表、柏倉家仏壇清掃・仏具磨き・建築専門家による庭園視察開始

9月…九左衛門庭園植栽図作成、柏倉家一般公開用備品・消耗品選定開始  
 10月…惣右衛門主屋の家財・資料引越し作業開始、新地域おこし協力隊と意見交換会

2月…中山町郷土研究会講演会の企画「地域資料から読み解く地域像」、岡千手観音堂仏像悉皆調査報告書編集・印刷製本開始

3月…柏倉家一般公開シミュレーション、柏倉家新事務所へ引越し

など

柏倉家での維持管理・調査研究・特別公開の企画等、基本的な学芸員の業務の土台を作ることから活動を始める一方で、中山町での初めての地域おこし協力隊ということもあり、様々な団体からイベントにお声がけいただきました。中山町のことをもっと知りたいという気持ちと、私たちの存在がめぐり巡って柏倉家を知ってもらうことにもつながると思い、できる限り参加させていただきました。

また、「今、私たちがしていること・感じていること」を発信する場所としてSNS（なかやまのなか）を始めましたし、「広報なかやまでコラムを書いている人ね」と認知されることが多くなりました。



長期間におよんだ聞き取り調査

2年目から岡地区のお母様方に“柏倉家”の清掃と風通しの協力を仰ぎました。これは指導員の井上利昭さんの人望により成り立つもので、私はハタキ片手に偉そうに指示出しをしていました。いつもフレッシュなガールズ母ちゃんたちのお陰で“柏倉家”の建物に再び艶と清々しさを取り戻せたと思います。

また、岡千手観音堂の仏像調査や、惣右衛門のご家族から主屋の資料1点ずつについてエピソードを伺う聞き取り調査を実施しました。この頃、中山町郷土研究会や故・烏兔沼宏之先生が発行した本を読み、記録物として残すことの重要性を感じ、いつかアーカイブ事業に取り組みたいと考え始めました。1年目よりもありがたいことに仕事の幅が広がりましたが、一般公開やひなまつりの展示準備が重なり、慌ただしさは増すばかりでした。

1年目 (平成30年度)

- 3月…協力隊着任、ひなまつり初参加
- 5月…全国地域おこし協力隊研修(3日間)、なかやま健幸くらぶポスターなど制作開始
- 6月…紅花まつりポスターなど制作開始、子ども教室「高取山登山」
- 7月…九左衛門で職業体験、紅花まつり初参加、豊田小学校でのゲスト授業、全国かぶと虫相撲大会初参加(なかやまのなか初出店)、子ども教室絵はがき講師
- 8月…九左衛門で職員研修、花笠パレード初参加、岡雨印の紅花制作開始、レクリエーション大会でぬぐい制作開始、健康と福祉のフェスティバルチラシ制作開始、岩谷十八夜観音例祭初参加
- 9月…オクトーバーフェストin中山初参加、ふるさと回帰支援センターの移住フェアに中山町ブースで参加
- 10月…ふるさとCM大賞中山CM完成披露
- 11月…西村山郡地域おこし協力隊意見交換会初参加
- 12月…ひなまつりポスターなど制作開始
- 1月…からまがるマルシェ初参加(なかやまのなか出店)、ながさき幼稚園餅つき初参加
- 3月…ひなまつり開始、岩手・秋田視察(3日間)

2年目 (令和元年度)

- 4月…第1回中山町地域おこし協力隊活動報告会
- 5月…企業版ふるさと納税パンフレット制作開始、紅花まつりポスターなど制作開始、お不動様祭典初参加、なかやま健幸くらぶポスターなど制作開始
- 6月…中央公民館大掃除
- 7月…紅花まつり開始、九左衛門一般公開向けデザイン制作開始、東南村山移住セミナーチラシデザイン制作開始、地域おこし協力隊起業セミナー①参加、東北六県移住フェアに中山町ブースで参加
- 8月…地域おこし協力隊起業セミナー②参加(2日間)
- 9月…西村山郡地域おこし協力隊意見交換会参加、東南村山移住セミナーに中山町ブースで参加、元祖芋煮会in中山初参加(なかやまのなか出店)
- 11月…惣右衛門YUKIHIRACOFFEEイベント
- 1月…からまがるマルシェ参加(なかやまのなか出店)
- 2月…女性まつり初参加(なかやまのなか出店)

など



すべてが初めての体験でした

もともと住んでいた方のお話を聞きながら、柏倉家の片付け整理を行ったことが思い出深いです。広い敷地なので大変な面もありましたが、色々なエピソードや暮らしのお話を聞くことができて、毎日新鮮な発見がありました。日々の暮らしの積み重ねと長い歴史が地続きになっていること、それを残すことの大変さや想いを体感として感じられ、貴重な経験をさせていただきました。文化財としてのエピソードに限らず、中山ならではの暮らしの文化や慣習についても教えていただき、中山の面白さへの期待が確信になった1年でもありました。

1年目は左治木さんと指導員の井上さんと一緒に作業が多かったですが、2年目になると自然と役割分担ができてきました。夏ごろからは一般公開に向けてデザイン業務を本格的に始めました。スタッフの方々にも様々な意見をいただき試行錯誤。デスクワークが多くなるにつれ現地の維持管理業務に参加できる回数が少なくなってしまい、申し訳なさや寂しさがありました。最終的にはロゴを初めとしてポスター、チラシ、web、チケット、キャプションなどなど、町内企業の方とも一緒にたくさんものを作らせていただきました。



3年目（令和2年度）

5月…柏倉家春の大掃除（煤払い・畳干し・雨樋清掃・鳥獣侵入対策）、ひな人形仕舞い作業  
 6月…柏倉文蔵家の家蔵資料整理開始、東北芸術工科大学文化財保存修復学科学生の卒業研究協力開始

7月…九左衛門・惣右衛門一般公開開始、岡千手観音堂町民向けパンフレット作成、「知事と若者の地域創生ミーティング」参加

8月…一般公開マニュアル資料作成開始

9月…柏倉家にて専門家視察・団体見学の案内対応、柏倉家秋の大掃除

10月…村山地方創生懇談会参加、来年のひなまつり展示企画開始

11月…「企業版ふるさと納税御礼芋煮会」漆器・会場準備、コミュニティスクール研修会参加

12月…柏倉家維持管理の年間作業マニュアル作成開始、柏倉家除雪・雪下ろし、「中山町を語り合おう」合同座談会参加

1月…地域おこし協力隊報告会の企画開始、「移住・定住の促進に向けた意見交換会」リモート会議参加

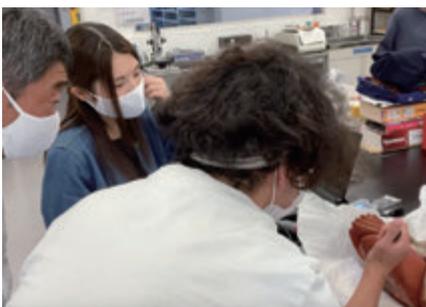
2月…地域おこし協力隊報告対談会の冊子作成、一般公開「ひな飾り」企画準備、協力隊退任など

3年目は新協力隊のほかに、教育委員会が採用する管理員も増えました。技術や文化の継承をするには丁度良い年齢・性別・専門層であり、「文化財チーム」は“山形らしい”3世代家族のような形になりました。ここから年間計画に沿ってより細分化した作業を開始し、山形の四季に合わせて、煤払いや畳の虫干しのほかに大切なお仏壇の清掃も行いました。

施設を管理することで何よりも重要なのは引き継ぎと情報の共有です。一人で抱え込まず、継続性を保つことが何よりも難しいです。でも作業を1つずつ習慣化すると余裕が出てきて、初めて祭り事や新たな取り組みができると思うのです。ただ、偉そうなことを言っておいて、私は抱えたものが多すぎて終わらないこと多数。ああ、一番あかんやつ。



岡地区の皆さんと一緒に大掃除。ちょっとした休憩タイムです。



芸工大でひな人形の染料調査



講師として参加した芸工大での講義



岡千手観音堂の調査を実施



作成した岡千手観音堂のパンフレット



岡千手観音堂世話人と資料整理



ひなまつり展示の準備作業

3年目（令和2年度）

4月…九左衛門新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館対応（3日間）、事務所リノベーション開始

6月…柏倉文蔵家の家蔵資料整理開始

7月…九左衛門・惣右衛門一般公開開始

9月…東南村山移住セミナーチラシデザイン制作開始

10月…地域おこし協力隊県知事意見交換会参加

11月…弘前大学移住調査インタビュー

12月…東北芸術工科大学総合美術コースゲスト講師、中山町地域おこし協力隊活動報告会デザイン制作開始

2月…東南村山郡地域おこし協力隊意見交換会参加、協力隊退任

など

3年目になるとまずやってきたのが新型コロナウイルス。九左衛門ではひなまつりの中止や一般公開の延期、ほかにも活動報告会などのイベントが中止となり、協力隊にも大きな影響がありました。大雨や地震、大雪など、ここ2年間でなかった自然災害も多く、様々な予定が想定外の方に。一方で新しい協力隊や柏倉家のスタッフも増え、自分たちでやってきたことを誰でもできるように引き継ぎしていくことがメインとなりました。私は主にデザインの説明書のようなものを作りました。7月からは延期になった一般公開が始まり、ガイドや受付業務も始まりました。また、協力隊卒業後は中山町に残ってフリーランスのデザイナーとして起業することを決断し、その準備を並行して行ってきました。書類整理や事務所のリノベーションなど、こちらも試行錯誤しながら進めています。（未だ現在進行形）



案内看板やキャプションもデザインさせていただきました。7月10日、九左衛門・惣右衛門の一般公開が始まりました。感慨深さと不安と緊張の1日。ここまで長かったような短かったような…。



隅から隅まで丁寧に掃き掃除



みんなで蓮池の掃除もしました



新たな活動拠点に…！



作成した「岡のほん」



「なかやまのなか」初出店



資料整理にもご協力いただきました

「これまで」と「これから」

# 地域おこし協力隊活動報告会対談

左治木悠子×前田真莉子

×佐藤恒平

**佐藤** 今日3年間の振り返りと

これからの進路についてお聞きしたいと思います。まずは、1年目の業務について教えてください。さ。

**左治木** 1年目のメインは引き継ぎ

で、当主からお話を聞きながら柏倉家の維持管理や掃除の仕方など教えていただきました。引き継ぎ書類などはなかったの、口伝をメモしたり、写真をとったりしてまとめています。

**佐藤** 前田さんも1年目は一緒に活動を？

**前田** そうですね。左治木さんと一緒に一般公開に向けて片付けをしていました。デザインをする上で柏倉家の魅力や地元の人々の思いを知るいい機会でした。

**佐藤** 前田さんはデザイナーさんですが、柏倉家の維持管理・活用が業務内容であった中山町の地域おこし協力隊に応募した理

由は何だったんですか？

**前田** もともと古い物や建物が好きだったんです。あと、一度見学したときに「面白いものがいっぱいある！」という気持ちが強くなったからですかね。

**佐藤** なるほど。

**佐藤** 1年目は片付けから始まったと聞きましたが、やってみてどうでした？

**左治木** 良くも悪くも想像を超えていましたね。資料としていたいくものと残すものがある程度整理された状態で業務を任せられると想定していたのですが、私たちが着任したときはまだ生活したままの状態が残っていましたから。「文化財」というイメージで入ってきたので驚きました。でも、逆に生活資料がそのまま残っているのは魅力的でしたね。ここで生活していた人たちの歴史を汲み取りながら作業できました。

**佐藤** 僕たち一般の人は形になっ

た文化財しか見ることができないですけど、文化財にしていく過程って研究者や学芸員の視点から見たら、ものすごく価値のあるものですよ。

**左治木** 周りから見たら「全て処分してもいいんじゃない？」と思

われがちですけど、灰皿1つであつても、なぜここにあるのか、どんなストーリーが隠されてるのかを発掘するのも楽しみの1つですね。

**佐藤** では、2年目の活動を聞く前に、おふたりの第一印象を聞いてもいいですか？

**前田** まじめでクールでバリバリ仕事します！みたいな人だと思つて、すごくちゃんとした人だといけない。でも話すうちに左治木さんが末っ子だとわかったし、緊張しい。なところ可愛いと思えました。

**左治木** 最初から話しやすい雰囲気がありました。緊張しい。なので不安だったんですけど、前

## 司会進行役を務めた佐藤恒平さんといえば…

皆さんもご存じ「桃色ウサビ」の生みの親で、コミカルな動きで場を盛り上げる中の人ご本人です。着ぐるみキャラクター「桃色ウサビ」による朝日町のPRを皮切りに、ふるさと納税、地域学校教育などの分野で実験的な手法による地域振興プロジェクトを手がけています。平成26年には、地域振興サポート会社「まよひが企画」を開業し、自身が提唱する成功事例を模倣しない活性化手法「非主流地域振興」によって、地方自治体や公益団体の事業サポートを行っています。



まよひが企画  
代表 佐藤 恒平さん

田さんがフランクな方で助かりました。実は1年目に他市町村の協力隊と何度か交流する機会があったんですけど、前田さんが行くときだけ一緒に行って、前田さんが行かないときは私も断ってました(笑)。

**前田** (笑)。



懐かしいエピソードに思わず笑顔

**佐藤** 2年目の活動はどのように変わりましたか？

**左治木** 一般公開に向けて本格的に準備が始まりました。ある程度引き継ぎも片付けも終わって、展示品をどう見せていくかの話し合いが始まりました。

**前田** 私たちが3年目の4月にオープン予定だったので、2年目の目標はとにかく間に合うよ

うに形を整えることでした。何を展示するか、どういう解説をつけるか、どういうストーリー性を出すか。私の場合はポスターやパンフレット、案内看板などの必要最低限のものを提案してデザインして…。

**佐藤** 時間が足りないですね…。

**左治木** ちょうど2年目に国の重要文化財に指定答申していただいて、そこでまた柏倉家の価値が変わったことで見せ方が固まりました。

**佐藤** 準備という見えない部分で作業をしていると、地域の人から「この人たちは何をしているんだろう」と思われることもありますが、そのあたりはどうでした？

**前田** 岡地区に頻繁に出入りするのでご挨拶させていただきましたけど、皆さんとても優しくかったです。「山形は大変でしょう」とか「こんなものあるのよ」とか。  
**左治木** それと、指導員さんが岡地区出身だったので色々なところに連れて行ってくれたのが大きいですね。

**前田** たしかに。指導員さんがいてくれたからこそここまでこれたし、

お父さんのような存在ですね。  
**佐藤** 2年目の後半は全力疾走しないといけない時期でしたよね？

**前田** そうですね。左治木さんに催促されるくらいデザイン業務に遅れが出たり、町内企業の方と案内看板の作成をしたり。私はほぼパソコンとにらめっこ状態でしたので、現場での準備に参加できなくて申し訳なかったです。

**左治木** 2年目は本当に人が足りなくて、岡地区のお母さんたちにお手伝いをお願いしました。岡地区全体で柏倉家を支えていくという土台作りもしたかったし、個人的に岡地区内の仏像調査も入っていたので、本当にバタバタでした…。

**佐藤** おそらく一番濃い期間でしょうね。事前にいただいた活動記録を見ましたけど、2年目の欄が真っ黒でした(笑)。

**佐藤** それでは最後の年になる3年目の活動を聞かせてください。  
**左治木** 新型コロナウイルスが拡大し、ひなまつりは中止。一般公開も延期になって休養期間になりました。

開も延期になって休養期間になりました。

**佐藤** 一般公開が始まってからは？  
**左治木** 日々魅せる窓の開け方や、わかりやすい解説を研究しながらガイドを務めています。

**前田** ガイドをしながら新しい地域おこし協力隊の2人へ引き継ぎをしています。デザインの説明書を作成したり、ウェブサイトの更新の説明をしたり。

**佐藤** 旅先のホームページを見ることは基本ですし、頻繁に更新されるホームページは安心しますから大切なことですね。

**佐藤** それでは最後に、今後の進路を聞いてもいいですか？

**左治木** すごく悩みましたが、まだまだ中山町の文化財を知りたいと思いい、職員採用試験を受けて、4月から町職員として働かせていただく予定です。

**前田** 私は2月1日付でフリーランスのデザイナーになりました。町内にいるので柏倉家のお手伝いもしていきたいなと思います。まだまだ柏倉家を知りたいし、町の面白いものを発信したりしたいです。

**佐藤** 本日はありがとうございます。新しい目標に向かって2人とも頑張ってください。

伊藤一之×稲垣圭祐

×佐藤恒平

**佐藤** まずは自己紹介をお願いします。

**伊藤** 昨年の2月に着任した伊藤一之です。観光関係の業務に携わっています。

**稲垣** 昨年の4月に着任した稲垣圭祐です。柏倉家の維持管理と調査研究をしています。

**佐藤** おふたりの活動を聞かせてください。

**伊藤** 自分がもともとやっていた観光や、地域振興の活動を活かせるようにと、8月に教育課から産業振興課に移動させてもらいました。中山町は、観光資源は豊富ですが、それを観光産業に活用するにはあと一歩が足りていない状態だと思います。柏倉家を守っていく意味でも、中山町全体の観光資源を活用し、盛り上げていきたいです。

**佐藤** コロナ禍で様々なものが停滞したこともあり、一つの活動に徹するよりも、町全体の観光を考えて、課をコンバートしたんですね。

**稲垣** 私が着任したのは新型コロナ

ウイルス真っ只中の4月。中山町に来て初めて命じられた仕事がまさかの「自宅待機」でした。大学では江戸時代を中心に勉強していて、博物館学芸員の資格を持っていたこともあり、中山町に来る前は博物館でアルバイトなどをしていました。柏倉家も江戸時代から続いてきた歴史ある建物なので、歴史の面で調査研究を進めています。



稲垣圭祐さん

**佐藤** 中山町の地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけを教えてください。

**伊藤** 栃木県で地域振興活動に参加していました。経験を活かして行く中で「地元の山形に貢献したい」と思うようになりました。山形に戻ってから、地域おこし協力隊を募集している市町村を訪問しましたが、一番熱意

があったのが中山町でした。普段だったら通り過ぎてしまう中山町に、逆に注目してみたいと思いました。

**稲垣** 大学院後の進路を考えた時に、歴史研究や文化財に携わる仕事をしたいと思いました。もともと地域おこし協力隊という仕事を知っていたので、「学芸員」「文化財」をキーワードに調べて、中山町の募集がヒットしました。すぐに連絡をとって、一昨年の8月頃に柏倉家の見学をさせてもらいました。文化財業界において「保存と活用」は永遠の課題と言われるくらいバランスが難しい問題です。中山町で仕事ができれば、自分にとってもいい経験になると思います。

**佐藤** 文化財として保存したいけれども、利活用しないと維持管理するための収入がない。本当に難しい問題ですよ。

**佐藤** 今後の活動に活かせる得意なことはありますか？

**伊藤** 人を巻き込むことが得意です。昨年の10月から観光庁のスキルアップ事業に参加しているのですが、様々な立場の方々と一緒に中山町の新しい観光商品

開発に取り組んでいます。

**佐藤** いわゆる着地型観光と言われるような、特定の場所に行つてそこだけ楽しんで終わりでではなく、そこから広がるように楽しめる場所を「自分たちで作りに上げていく」ことが重要な時代になりましたね。

**伊藤** そうですね。ワークショップに参加すると「熱い思いを持っている人」の話を聞くことができるので、とても刺激を受けます。

**稲垣** 博物館が好きで、全国各地の歴史ある博物館を巡っていました。各施設の独自プログラムや取り組みを多少なりとも知っているのも、そういうところを活かせると思います。

**佐藤** 柏倉家を活用していく上で、何か提案はされましたか？

**稲垣** 具体的な提案はまだできていないので、これから調査を進めながら考えていきたいです。まずは保存が必要ですが、例えば、モノそのものも大事ですが、モノとヒトとの関係を知ることができる情報の保存も必要です。そうした情報がモノの価値になっていきます。道のりは長い



着任してもうすぐ1年 次の目標は…

ですが、それが調査研究の面白さですね。

**佐藤** なるほど。おふたりはいま別々の課にいますが、課が違うからこそ協力してやっていけることがありそうですね。

**佐藤** 最後に、これからやっていきたいことを聞かせてください。

**伊藤** ①町内で活動されている方たちをつなげる役になる。②町の特産品開発や、近隣市町村と協力したツアーを企画する。

**稲垣** ①柏倉家に関する資料を調査する。②一般公開の中で当時

の雰囲気を楽しめる展示を増やす。

**伊藤** 最上川河川敷の活用とかも考えたいですね。自然に人が集まるし、目の前に温泉もある。そこを中心に何かできれば…。春から秋にかけて多くのキャンパーが集まる場になっているので、キャンパーの方々向けに何か提供できるサービスなども考えたいです。



伊藤一之さん

**稲垣** 大人も子どもも一緒に地元の魅力を発表する機会を作って、その発表内容を冊子にする「地域の教科書づくり」を企画してみたいです。そして、自分たちの地域の文化財や歴史を、町内外の人に伝えていける光景を当たり前前にしたいです。

**佐藤** 「普段見ているものには、こんな価値があるんだよ」って

知ってほしいですよ。地元をPRするために、まずは地元の人が地元を楽しんで、その楽しさを色々な場所で伝えていけるような地域づくりを目指してほしいです。

左治木悠子×前田真莉子×  
伊藤一之×稲垣圭祐×  
佐藤恒平

**佐藤** これから中山町が続けていくべきこと・守っていくべきこととは何だと思えますか？

**稲垣** 柏倉家やお達磨の桜といった名所だけでなく、ここから見る景色が好きとか、そういったことに目を向けられる町であってほしいです。

**伊藤** 伝統や古くからの遊びなどを残したまま発展していくことが大切だと思います。

**前田** 私はオナカマの文化がとても好きなので、お祭りをどうにかして続けてほしいです。あとは初市のだんご木売りとか。根本は変えずに、現代に合わせた形の初市にしても面白いと思います。

**左治木** 私も前田さんと一緒ですね。中山町アーカイブを作って、町にはこんなものがあるよっていうのを書物として残していきたい。平成の最初に無くなってしまうようなものが、令和になってもあるのは驚きです。

**佐藤** 中山町がこれから発展させていくべきことは？

**伊藤** 柏倉家周辺の黒堀をもっと活用したいですね。町外からきた人にとってあの場所は映えスポットらしいです。例えばですけど、惣右衛門をVIP層向けの宿泊施設にしたり…。できるかどうかは別にして、そういった可能性を常に考えていきたいです。

**稲垣** まずは、地域に興味を持っている人と、そうでない人をつなげたいです。異なる考え方を共有できる空間づくりを町全体でしていきたいです。

**左治木** とにかく中山町は面白い人が多いと思います。好きなことを好き勝手にやっているというか（笑）そういった人にスポットを当てたい。

**前田** さっき話した中山町のアーカイブを作ることこそそうですし、

特集 私たちのこれまでとこれから（地域おこし協力隊活動記録）

柏倉家で作業されている職人さんたちに注目してみたり、町内のお地藏さんを集集してみたり。：。「中山町は何もない」と皆さん言いますが、当たり前にごいことをしている人がたくさんいると思います。

**佐藤** 文化も色々な光の当て方があるから、アイデアも多様でいいですね。

**佐藤** 最後に、一緒に作っていきたい中山町の未来を教えてください。

**稲垣** 繰り返しになりますが、自分たちの地域の魅力に興味を持ち続けて、探求し続けて共有し合える町を作りたいです。大人から子どもへだけでなく、子どもから大人へ考えを話し合えるような関係であってほしい。

**伊藤** 伝統や文化を守りながら、次世代へ価値が引き継がれるようにしたい。あとは町民の横のつながりをもっと強固にしたいです。

**前田** タガマヤとかオナカマとか、大きなところに例えると、東京の高円寺とか吉祥寺みたいな要素を中山町は持っていると思います。少しベッドタウンでカル



和気あいあいとした様子で進む新旧協力隊の対談

チャー寄りの町になったら面白いです。そんな中山町がいいなと思っ足運んでくれる人が増えるといいな。あとは住みやすい町であってほしいです。すこやかというか…。

**左治木** 「この町はこれだ」というよりは、色々な要素があるから、町全体を見て面白いと感じてほしいですね。どれかにハマって

～地域おこし協力隊活動報告パネル展示のお知らせ～

- 中央公民館 1階ロビー  
4月12日(月)～25日(日)午後4時
- ひまわり温泉ゆ・ら・ら ロビー入浴棟通路  
4月28日(水)午後1時～5月6日(木)
- 町立図書館ほんわ館 1階ギャラリー  
5月8日(土)～14日(金)午後4時

※下記の日程で協力隊がお待ちしています！  
4月14日(水)・21日(水)の午後5時～7時  
4月17日(土)・24日(土)・25日(日)の午後1時～4時

※お問い合わせ先 [nakayamanonaka@gmail.com](mailto:nakayamanonaka@gmail.com)

くれて、そこから住んでくれたら嬉しいです。色々な人がいるからこそ否定されない、必ず誰かに認められる町であってほしいです。  
**佐藤** 4人それぞれの考えがあった面白かったです。地域おこし協力隊の活動をきっかけに、より多くの人とつながってほしいですね。

そして…

地域おこし協力隊退任式

2月26日に、3年間地域おこし協力隊を務めた左治木悠子さんと前田真莉子さんの退任式が役場庁舎で行われました。

佐藤町長から「東北の山形という地に来て、3年間活動してくれて本当にありがとうございました。活動の中で新たに発見した目標に向かってそれぞれ頑張ってください」と感謝と激励の言葉が贈られました。



3年間お疲れ様でした

## 第167話 教育の機関 藩校 中山町歴史散策

江戸時代の教育機関は、すでに今日の学校とほぼ同じ内容を講ずる施設が形成されていた。代表的なものとしては江戸の昌平坂学問所（昌平黌）があります。もともと、寛永18年（1641年）には岡山藩に藩の「花鳥学舎」が創設され、足利には「足利学校」の設置など、随分と古い時代から教頭と学生と建物を整えられ、武士階級の子弟は、こうした藩校で学びました。一方、庶民の子弟には寺の境内や師匠宅に設けられた「私塾」があり、前者は行政役人としての書記能力、人民の統率の力量を培い、私塾では、もっぱら生活に必要な実用学を学びました。藩校は、中山町域にはありませんでしたが、近隣には次の諸藩校が設けられていました。

（後の明新館）  
文化6年 1809年

山形藩 立誠堂  
（享和2年） 1802年

天童藩 養正館  
（文久3年） 1863年

上杉藩 興讓館  
（安永5年） 1776年

戸沢藩 明倫館  
（天明年間） 1781年頃

酒井藩 致道館  
（文化2年） 1805年

小藩といえども、藩士の子弟を教育し、次の世代を担う資質の養成が求められていました。藩校は、幕府の昌平坂学問所を手本とし、江戸時代初期に設けられたものが多く、藩体制を支え、支配階級としての知識と修養を重ねる場でした。また、学問好きの藩主が学問を奨励し

たことで、自然と学校の形になっていきました。学習の内容は朱子学を中心とした漢学でしたが、中期・後期になると、社会の変革は幕府の財政的な危機によって一極集中の教育に行き詰まり、むしろ藩校の形で地場の教育に力が注がれていきます。また著名な学者は学問の流派をつくり、その派閥が学問を育てていくことになりました。

やがて、武士階級だけで大衆を支配する体制は薄れていきます。村には農業生産の担当者である百姓代（惣百姓）、村落の生活を担う組頭、それを統括する名主、庄屋。さらに数か村または十数か村を統括し、藩庁や代官所と直接結びつく大庄屋ができ、いわゆる村方三役が定着すると、回状を控える書写力、そして請書（報告書）などの文章能力、検地立ち合いのための測量技術、水害対策など多方面にわたる学力を涵養することが求められていきました。

その学力を身に付けるには、それぞれの能力に富む、僧侶、医師、師範役に付いて学ぶよりほかはありません。私塾はこうした社会的背景の中で生まれました。

もともと学力は一朝一夕で身に付くものではないため、子どもの時代は寺の僧や、寺社内に設けられた一寺子屋一に通って学問の教授指南を受けました。藩校は藩の主旨に沿い、寺子屋、私塾はそれなりの理由をもって設けられたのです。

※引用 中山町史 中巻 第10章第2節 教育

## コロナ禍でもにぎやかに 令和2年度の活動報告 女性まつり展示会を開催しました

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ開催が中止となった女性まつりですが、2月5日から15日の期間、女性団体連絡協議会（戸田貞子会長）の会員が作成した作品、およびだんご木が中央公民館に展示されました。毎年綺麗な飾りをつけて来場者を出迎えてくれるだんご木が、初めて展示されたのはおよそ30年ほど前だそうです。

昨年よりも鮮やかな飾り付けが増えただんご木を皆さんご覧になりましたか。

【展示団体】中山町商工会女性部、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、婦人会、J Aやまがた女性部 ひまわり支部、食生活改善推進協議会



例年より大きなだんご木が登場



中央公民館のホールに作品を展示しました

## 令和2年度統計功労者表彰

2月4日、令和2年度統計功労者表彰式が開催され、下記11名の方々が長年の統計功労により表彰されました。また、経済産業大臣より表彰および感謝状を贈呈された2名の方に、町長から表彰状と感謝状が伝達されました。

●**経済産業大臣表彰**

橋本 正之さん

●**経済産業大臣感謝状**

那須 弘悦さん

●**山形県統計協会会長表彰**

石川 敏男さん、野口 政行さん

●**山形県統計協会会長感謝状**

柏倉 和廣さん、工藤 京子さん

●**山形県統計協会会長感謝状（退職調査員）**

五十嵐 完二さん、岸 孝一さん、佐東 榮さん、高橋 幸悦さん、高橋 伴保さん、那須 弘悦さん



橋本さんは平成2年から現在まで調査員として活躍されています



那須さんは平成17年から令和元年まで調査員を務めました



## 寄附ありがとうございます

2月10日、澁谷昌さん（あおば）から、災害避難所用口腔ケア用品として活用してくださいと、歯ブラシ・液体歯磨き（各800本）が寄附されました。

避難所生活や水不足で口の中を清潔に保つことができないと、高齢の方は誤嚥性肺炎が起りやすくなるため注意が必要です。液体歯磨きは適量を口に含み口内に行き渡らせたあとにブラッシングします。災害時など、水が少ない状況でも使用できるのが特徴です。

楽しみながらきれいな字を書いてみませんか



無料体験  
実施中

生徒募集

書道教室 豊田書会

☆おけいこ日  
毎週木曜日 14～19時

稲村 輝山（きざん）

中山町岡 65 ☎662-2531(五十嵐)

お電話は 18～21 時にお願いします。

☆ 詳しくは HP をご覧ください。

<https://toyodasyokai.jimdofree.com>



書道教室の看板が目印です。

広告



過去の過ちを悔やんで  
いませんか？

西郷どんの教え その27

間違ったことを改めるには、自分が誤ったと自覚すればそれでよい。そのことをきつぱりと思い棄てて、直ちに一歩前進することが大事である。間違ったことをくよくよして何時までも悔しく思い、心配することは、例えば茶碗を割ったとき、そのかけらを集め合わせてみることに同じことで、どうしようもないことである。

これは自分自身に言い聞かせている。「過ちと知りながら反省を怠り、なお改めようとしないことが本当の過ちである」と。常に自問自答しながら行動を起こしていても「つい」という瞬間があるし、この弱さがあるが故、人は反省し、また一歩踏み出すことができる。

過ちはいいとは言いがたいが、悪かったという反省の気持ちが大抵であることは間違っていないし、未来への扉を開ける行動なのかもしれない。

中山町長 佐藤 俊晴



### 戸籍のまどぐち (2月分)

## 「みらいをつくる」 観光共創イニシアティブ シェアリングサミットが 開催されました

2月27日、観光庁の観光人材育成事業『みらいをつくる』観光共創イニシアティブに参加している町民が集まり、4か月間にわたって取り組んできた観光共創の成果を発表する「シェアリングサミット」が中央公民館で開催されました。これは全国各地15地域で開催されており、参加した仲間たちと共に学習・成長し、地域の観光の未来に向けて実現したい未来像とそこに向かう挑戦を共有することで、共創の力を育てることを目的に実施された事業です。

シェアリングサミットには、24歳から72歳までの町民約45名が参加し、これまで行ってきた活動の成果や未来へ向けての活動指針を発表し、意見交換を行いました。



### まちの人口 (2月末現在)

人口 11,019人 (前月比+4人)  
(男 5,403人、女 5,616人)

世帯数 3,722世帯 (前月比+6世帯)

人の動き 出生 3人 転入 23人  
死亡 9人 転出 13人

# お知らせ版

No.1373

## 犬・猫の飼主の皆さんへ

※お問い合わせ先  
住民税務課住民G

☎662・2113

### 【犬の飼主の方へ】

●フンは必ず持ち帰りましょう。

犬のフンに関する苦情が後を絶ちません。犬のフンの放置は条例違反です。後始末をしない無責任な飼主の行動が周囲の人を困らせてしまいますので、フンは、必ず持ち帰ってください。

●放し飼いはやめましょう。

放し飼いは迷子や事故の原因、周りの人に迷惑をかけることにもなるので絶対にやめましょう。

### 【猫の飼主の方へ】

●責任を持って最後まで飼いましょう。

子猫が捨てられている連絡が後を絶ちません。子猫が生まれて困る場合は、「避妊」「去勢」手術をおすすめ

します。

※動物を捨てることは、動物の愛護及び管理に関する法律に違反する行為です（違反すると100万円以下の罰金となります）。

●飼う意思がないのであれば、野良猫にエサを与えないでください。

子猫が増え、近所の方へ迷惑をかけてしまいます。最後まで責任を持って飼う意思がないのであれば絶対にやめてください。

## 令和3年度狂犬病予防 集合注射を中止します

※お問い合わせ先

住民税務課住民G

☎662・2113

毎年4月に実施している狂犬病予防

集合注射は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催を中止します。犬の登録をしている方には、3月下旬に接種案内ハガキをお送りしますの

で、ハガキを持参の上、動物病院で接種してください。

## 社会教育関係団体届の 提出について

※お問い合わせ先

教育課生涯学習G

☎662・2235

町内に住所がある社会教育関係団体を対象に、令和3年度の社会教育関係団体届の受け付けを開始します。届出用紙に必要事項を記入の上、会員名簿と会則等を添えて提出してください。

社会教育関係団体として登録された団体は、中央公民館を利用する際、使用料の減免が受けられます。

●受付期間 3月15日(月)～4月15

日(木) 午前9時～午後10時

※毎年、届出が必要です。また、代表者等が受付期間外に決定する場合は、決定後、速やかに提出してください。

●提出場所 中央公民館窓口(届出用

紙を準備しています。)

●対象団体 町内に住所があり、社会教育に関する事業を目的とする団体、サークル、愛好会など

## 就学援助制度のお知らせ

※申請・お問い合わせ先

教育課学校教育G

☎662・5484

●対象 中山町に住所があり、かつ、中山町立の小中学校に在学している児童生徒の保護者等で、生活保護を受給中の方、または、生活保護に準ずる程度に困窮していると認められる方

●援助されるもの ①学用品費 ②通学用品費 ③校外活動費 ④新入学用品費 ⑤修学旅行費 ⑥通学費 ⑦クラブ活動費 ⑧生徒会費 ⑨PTA会費 ⑩医療費 ⑪給食費

●申請方法 関係書類を添付し、3月31日(水)までに教育課学校教育G(中央公民館内)に提出してください。申請書は町内各小中学校、教育課学校教育Gで配布しています。



# 新型コロナウイルスワクチン接種についてのお知らせ

(2月末時点の情報であり、今後変更となる場合もあります。)

4月下旬より、高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種が開始される予定です。ワクチンの供給状況等により、接種の開始時期が遅れたり、早まったりする場合があります。引き続きインターネットや広報などで国や県、町からの情報をご確認ください。

- 高齢者の対象者（令和3年度中に65歳以上に達する方）には、3月～4月頃に町から予防接種券が届きます。  
それ以外の方は、国が定める優先順位に従って、順次ご案内する予定です。
- ワクチンは2回接種です。接種料金はかかりません。
- 町では、集団接種と個別接種の両方に対応する予定です。集団接種の会場や日程、個別接種可能な医療機関、予約方法などの詳細については、予防接種券と一緒に「ご案内の通知」を送付しますので、お手元に届くまでお待ちください（町公式ホームページでも公開予定です）。
- ワクチンは原則、住所地（住民票のある市町村）で受けます。ただし、長期入院、長期入所している方等のやむを得ない事情による場合には、例外的に住民票所在地以外で接種を受けることができます。具体的な例は以下のとおりです。

やむを得ない事情で住民票所在地以外に長期間滞在している方の例	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町外の施設等に入院・入所中の方</li> <li>・ 基礎疾患を持つ方が主治医の下で接種する場合</li> <li>・ 災害による被害にあった方 など</li> </ul>	→ 町外で接種する場合でも町への申請は不要です。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出産のために里帰りしている妊産婦</li> <li>・ 遠隔地へ下宿している学生</li> <li>・ 単身赴任者 など</li> </ul>	→ 町外で接種する場合は町への申請が必要です。（申請方法は追ってお知らせします。）

※新型コロナウイルスワクチンの接種は、国では全国民に受けていただくようお勧めしていますが、接種を受けることは強制ではありません。

※現在、何かの病気で治療中の方や、体調など接種に不安がある方は、かかりつけ医等とご相談の上、ワクチンを受けるかどうかお考えください。

※お問い合わせ先 **健康福祉課健康づくりG ☎662-2836**

## 中央公民館休館のお知らせ

※お問い合わせ先

**教育課生涯学習G**

☎662・2235

館内清掃およびワックス掛け実施のため、**3月30日（火）**は休館となります。終日館内には入れませんのでご了承ください。

## 心配ごとと法律相談所を開設します

※予約・お問い合わせ先

**社会福祉協議会(保健福祉センター内)**

☎662・4361

あなたの悩み、心配ごとに柿崎弁護士が助言します。お気軽にご相談ください。

●日時 **3月24日（水）**

午後1時15分～4時

●場所 **保健福祉センター2階研修室**

●相談内容 財産・相談・土地・金銭・家族問題など

●予約方法 電話受付（先着5組）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来庁前の検温、マスクの着用、来庁時の手指消毒にご協力ください。

# 軽自動車等の名義変更や 廃車の手続きはお早めに！

軽自動車税種別割は、4月1日現在の所有者（賦課販売の場合は買い主）に対して課税されます。月割課税制度はありません。住所変更に伴い、車両の主たる定置場を変更した場合や車両を譲渡・廃車した場合は、次の窓口でお早めに手続きをしてください。

また、県外の窓口で車両の譲渡・廃車の手続き、住所（標識）変更の手続きを行った場合は、「軽自動車税変更（転出）申告書」および新旧の車検証の写しを郵送またはFAXで住民税務課税務Gへ送付してください。

車種区分	手続き窓口
<ul style="list-style-type: none"> <li>・原動機付自転車（総排気量50cc～125cc以下）</li> <li>・小型特殊自動車（乗用トラクター、フォークリフト等）</li> </ul>	<p>住民税務課5番窓口 ☎662-2112</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽自動車（三輪・四輪・被けん引車）</li> </ul>	<p>軽自動車検査協会山形事務所 ☎050-3816-1835</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽二輪車（総排気量125cc超250cc）</li> <li>・二輪小型自動車（総排気量250cc超）</li> <li>・一部の小型特殊自動車（標識番号が中山町99で始まるもの）</li> </ul>	<p>東北運輸局山形運輸支局 ☎686-4711</p>

※お問い合わせ先

住民税務課税務G ☎662-2112 FAX 662-2991

## 消費生活の窓口から 不正利用防止のために、 利用明細は必ず確認しましょう！

「クレジットカード会社から利用した覚えのない請求があった」という相談が寄せられています。第三者による不正利用のおそれもあります。

〈事例〉クレジットカード会社から代金の引き落としができないと、確認の電話が来た。慌てて利用明細を見ると、先月3回に渡って、計50万円以上の心当たりのない請求があった。カード会社に問い合わせ、教えてもらった請求元に連絡をすると、私名義での購入の履歴はないと回答があった。（70歳代 男性）

### 【アドバイス】

- ◆利用明細は必ず毎月確認しましょう。クレジットカードを利用した際の伝票や注文確認メール等は保管しておき、日付や金額等を利用明細と突き合わせて確認しましょう。また、利用明細には、店舗名とは異なる記載がされていることもあります。
  - ◆自分に覚えがなくても家族がカードを利用している可能性もあるので、家族にも確認してみましょう。
  - ◆不正利用が疑われる場合は、早急にカード会社に連絡しましょう。
  - ◆困ったときは、消費生活相談窓口か消費者ホットライン（局番なしの188番）に相談しましょう。
- ※出典：国民生活センターホームページ「不正利用かも!? 利用明細は必ず確認」

※ご相談・お問い合わせ先 中山町消費生活相談窓口（住民税務課住民G内） ☎662-2593

JR切符や定期券は

## 羽前長崎駅でお求めください

乗車券類の売り上げの一部は、手数料として町に還元され、駅業務や施設管理費の一部に充てられます。新幹線特急券は自由席、指定席どちらも購入できますので出張・旅行の際にはぜひご利用ください。また、次の割引切符についても販売しています。

- ◆学校学生生徒旅客運賃割引（学割）
- ◆身体障害者割引
- ◆JR東日本ジパング倶楽部割引



※種類により利用制限のある場合がありますので、詳細はお問い合わせください。

※お問い合わせ先 羽前長崎駅 ☎662-2221

## 「令和3年度固定資産税に係る土地および家屋価格帳簿の 縦覧・閲覧期間について」

- 持ち物 本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証等）、印かん
- 縦覧・閲覧場所 住民税務課税務G（役場1階5番窓口）

### 縦覧

- 期 間 4月1日（木）～5月31日（月）（土・日、祝日を除く）
- 時 間 午前9時～午後5時
- 対 象 固定資産税納税者およびその同居親族
- 手数料 無料

※指定した地番のみ縦覧できますのであらかじめご確認の上、申請をお願いします。

### 閲覧

- 期 間 いつでも可（土・日、祝日など役場閉庁日を除く）
- 時 間 午前9時～午後5時
- 対 象 固定資産税納税義務者およびその同居親族のほか、借地、借家人も該当する部分のみ閲覧可能
- 手数料 縦覧期間中は無料となりますが、借地、借家人は有料となります。縦覧期間以外は450円です。

※お問い合わせ先 住民税務課税務G（役場1階5番窓口） ☎662-2112

## 確定申告期限の延長について

令和2年分の所得税（および復興特別所得税）、贈与税および消費税（および地方消費税）の申告・納税の期限は4月15日（木）まで延長されました。なお、延長後は会場の規模が縮小されますので、会場での相談を希望される場合は、早めのご来場をお勧めします。

- 開設場所 山形テルサ
- 期 間 3月16日（火）～4月15日（木）（土・日、祝日を除く）
- 時 間 午前9時～午後4時

※会場の入場には「入場整理券」が必要です。

なお、感染リスク軽減のため、パソコン、スマホで申告ができるe-Taxのご利用をお勧めします。

※町役場の申告相談会場は、3月15日（月）で終了しました。

※お問い合わせ先 山形税務署（個人課税第一部門）  
☎622-1611（音声案内「2」）

→国税に関する一般的な質問、相談は、音声案内「1」を選択してください。

## なかやま健幸くらぶ 教室型についてのご案内

## ～令和3年度新規会員を募集します～

## &lt;なかやま健幸くらぶとは&gt;

ウォーキングを中心とした健康づくり事業です。活動量計やスマートフォン歩数計アプリを活用し、個人の目標に合わせて歩数や活動量を増やしていきます。なかやま健幸くらぶには、ウォーキングを中心に取り組む「ライフスタイル型」と、ウォーキング+運動教室での筋トレに取り組む「教室型」の2種類があります。

## 歩いて健康のまちづくり

## なかやま健幸くらぶ 令和3年度教室型について

- 対象 20歳以上の中山町在住・在勤の方
- 参加費 ▶65歳以上の町内在住の方 年間2,200円（保険加入代込）  
※町外在住の65歳以上の方は年間4,200円（参加費3,000円+保険料1,200円）  
※65歳以上の方は、傷害保険への加入が必須となります。
- ▶65歳未満の方 年間3,000円  
※傷害保険は任意加入です。加入希望の場合は、別途保険料がかかります。
- 場所 総合体育館（使用できない日は別の場所で行います。）



## 教室の内容

クラス名	開催日時	内容
いきいきクラス	日・水曜日 午前9時30分～10時30分	【運動レベル 上級】 もっと筋肉をつけたい、しっかり汗をかきたい方へオススメです。
るんるんクラス	火曜日 午前10時～11時 午後1時30分～2時30分	【運動レベル 中級】 音楽に合わせて楽しく体操やストレッチを行います。
はつらつクラス	火曜日 午後1時30分～2時30分	【運動レベル 初級】 運動に自信がない・足腰が弱ってきている方も安心！ソフトな運動から始めていきます。

令和3年度より「教室型」のクラスが充実し、体力に合わせて選べるようになりました。  
ぜひご参加ください！

- 申込方法 新規での入会ご希望の場合は、申込書の記入が必要です。  
※お申込み・お問い合わせ先 健康福祉課健康づくりG ☎662-2836

## ●その他団体等のお知らせ●

- ①お問い合わせ先 ②とき
- ③ところ ④内容 ⑤対象・定員
- ⑥費用 ⑦申込方法 ⑧その他

## 「2021年度国家公務員「国税専門官採用試験」(大学卒業程度)のお知らせ」

①仙台国税局人事第二課試験研修係  
(☎022・263・1111内線  
3236)、人事院東北事務局(☎  
022・221・2022) ②第  
1次試験日:6月6日(日) ④仙  
台国税局では、バイタリティーあふ  
れる国税専門官を募集しています。  
国税専門官は、国の財政を支える重  
要な仕事を担い、税務署等において、  
調査・徴収・検査や指導などを行う  
税務のスペシャリストです。 ⑤▼  
平成3年4月2日～平成12年4月1  
日生まれの者 ▼平成12年4月2日  
以降生まれの者で次に掲げる者 (1)  
大学を卒業した者および令和4年3  
月までに大学を卒業する見込みの者  
(2)人事院が(1)に掲げる者と同等の資  
格があると認める者 ⑦3月26日(金)  
～4月7日(水)までにインターネット  
トから申し込んでください。国家公  
務員試験採用情報NAVI ([https://  
www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.  
html](https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html))

# 保健カレンダー

※保健事業に関するお問い合わせ先

健康福祉課 健康づくりG ☎662-2836

※各事業については、新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更になる場合があります。

事業名	日時	場所	対象者等
乳児健診	3/24 (水) 対象者には個別通知でお知らせします。	保健福祉センター 検診ホール	令和2年4月・12月生まれのお子さんと前回欠席のお子さん ●持ち物 母子手帳、バスタオル、問診票、交換用おむつ、新型コロナ対策問診票
1歳6か月児健診	4/7 (水) 対象者には個別通知でお知らせします。	保健福祉センター 検診ホール	令和元年7月～9月生まれのお子さんと前回欠席のお子さん ●持ち物 母子手帳、問診票、「健やか親子21」質問票、交換用おむつ、バスタオル、新型コロナ対策問診票

## 日本脳炎ワクチン供給不足に伴う対応について

日本脳炎ワクチン製造会社のうち1社において製造の一時停止があり、その影響で、令和3年度の特に前半においてワクチンの供給量が減少し、全国的に出荷量の調整が行われる見込みです。

そのため、日本脳炎ワクチンの供給が安定するまでの間、以下の方の接種を優先することとします。

- 3歳以上で、4回接種のうち1期の2回接種（1回目および2回目）が未接種の方
- 定期接種として接種が受けられる年齢の上限※が近づいている方

※定期接種として日本脳炎予防接種が受けられる年齢の上限

1期（1～3回目の接種）は7歳6か月に至るまで、2期（4回目の接種）は13歳未満が対象です。このほか、特例措置として、平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの方は9歳以上13歳未満の間に1期の接種が可能です。また、平成19年4月1日以前に生まれた方で20歳未満の場合は、4回接種のうち未接種分を接種できます。

現在、ワクチンの製造は再開されていますが、その供給再開は令和3年12月頃となる見込みです。日本脳炎予防接種対象の方には、ワクチンの供給が安定するまでの間、上記の状況についてご理解、ご協力をお願いします。

※お問い合わせ先 健康福祉課健康づくりG ☎662-2836

## 東京オリンピック・パラリンピック 聖火リレートーチの巡回展示について

聖火リレートーチの巡回展示を行います。

- 場 所 中央公民館内ロビー
- 期 間 3月24日（水）午後1時～28日（日）午前11時
- 展示内容

- ・オリンピックトーチ（アクリルケース入り）1本
- ・パラリンピックトーチ（アクリルケース入り）1本
- ・各トーチに関する説明パネル

※トーチに触れることはできません（撮影可）。

※お問い合わせ先 教育課生涯学習G ☎662-2235



※イメージ

町の魅力を再発見！

中山町には、魅力的な場所やもっと知ってほしい良いモノなどたくさんあります。このコーナーでは、そんな町の魅力をお知らせしていきます。

# 中山公園に完成！！ 大人気のジャンボ雪滑り台

1月23日から中山公園山形県野球場（荘内銀行・日新製薬スタジアム）の駐車場に、ジャンボ雪滑り台が登場しました。多い日は1日に約230人が訪れ、たくさん子どもたちがお父さんやお母さんと一緒に冬限定の滑り台を楽しみました。

このジャンボ雪滑り台は、県から管理を委託されている青山建設株式会社の中山公園事業部の皆さんが企画しているもので、今年新型コロナウイルス感染症予防対策のため、検温などを行い安全面を配慮した上で実施されました。

ピョーン！



ピョーン！



乗り方を変えながら何度も滑る子どもたち くるくると回転するチューブ滑りに大興奮！

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

**なかがやま** **お知らせ版**  
NAKAYAMA TOWN INFORMATION  
(毎月15日発行) (毎月1日・15日発行)

令和3年3月15日号

「広報なかやま」「お知らせ版」の文字書体は誰にでも読みやすいユニバーサル書体を使用しています

発行 中山町 〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地

編集 総務広報課地域情報グループ

電話 (023)662-2223 (直通) FAX (023)662-5176

中山町公式ホームページ <https://www.town.nakayama.yamagata.jp>

(「広報なかやま」「お知らせ版」はホームページでもご覧いただけます)

ご意見用メールアドレス  
こちらのQRコードから取得できます。

